

四国経済の現状について (全国財務局長会議資料)



令和6年8月6日
四国財務局



しこくマ

【四国財務局 公式キャラクター】

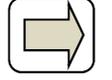
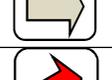
※図表等の計数は、単位未満四捨五入等の関係で内訳と合計が一致しない場合がある。

I. 管内の経済情勢

	令和6年4月判断	令和6年7月判断	総括判断の要点	4月判断との比較
総括判断	持ち直している	持ち直しのテンポが緩やかになっている	<p>個人消費は、観光が緩やかに回復しているものの、スーパーやコンビニエンスストアが底堅いものとなっていることから、全体としては持ち直しのテンポが緩やかになっている。</p> <p>生産活動は、汎用・生産用機械で持ち直しのテンポが緩やかになっているものの、食料品が緩やかに持ち直しているほか、非鉄金属が回復しつつあることから、全体としては一進一退の状況にある。</p> <p>雇用情勢は、緩やかに持ち直している。</p>	 (9期ぶり 下方修正)

〔先行き〕

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

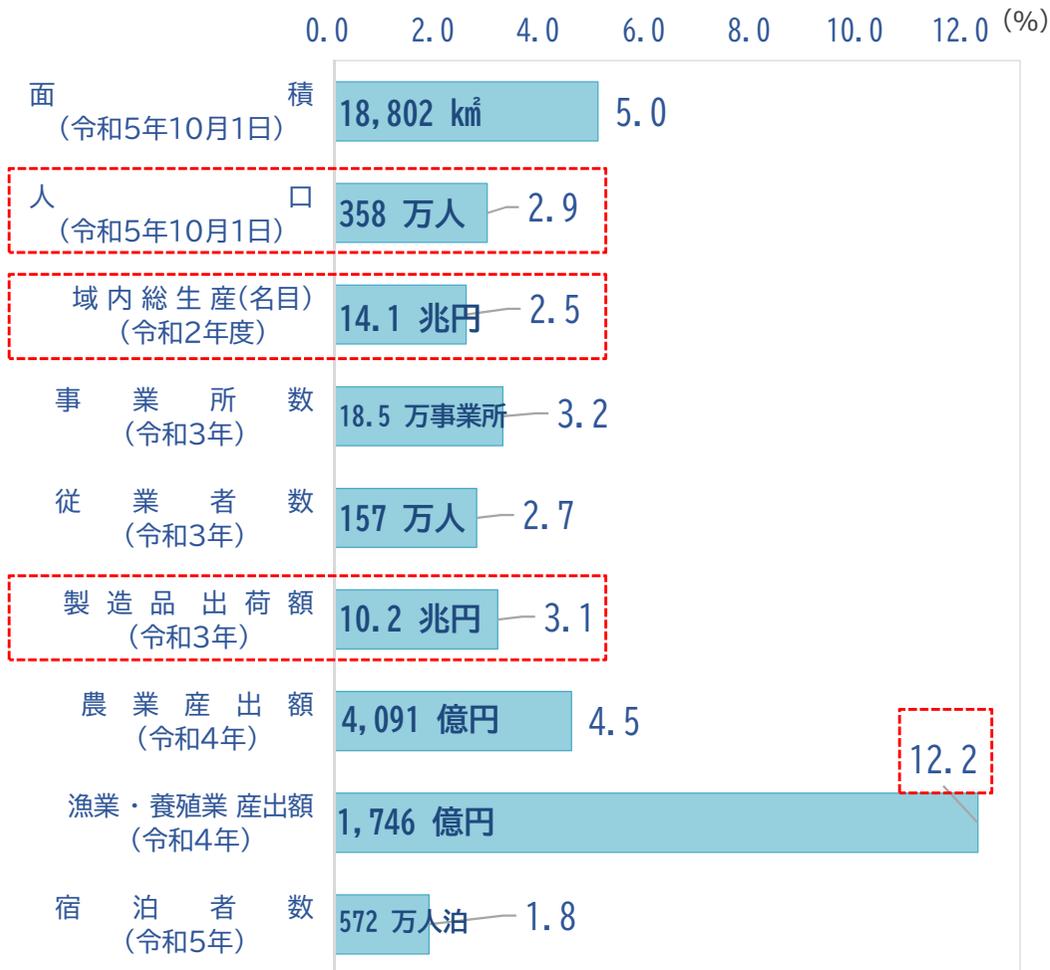
項目	令和6年4月判断	令和6年7月判断	4月判断との比較
個人消費	持ち直している	持ち直しのテンポが緩やかになっている	
生産活動	一進一退の状況にある	一進一退の状況にある	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
公共事業	前年度並みとなっている	前年度を上回っている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
設備投資	5年度は前年度を上回る見込み	6年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	5年度は減益見込み	6年度は増益見込み	

※ 6年7月判断は、前回6年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

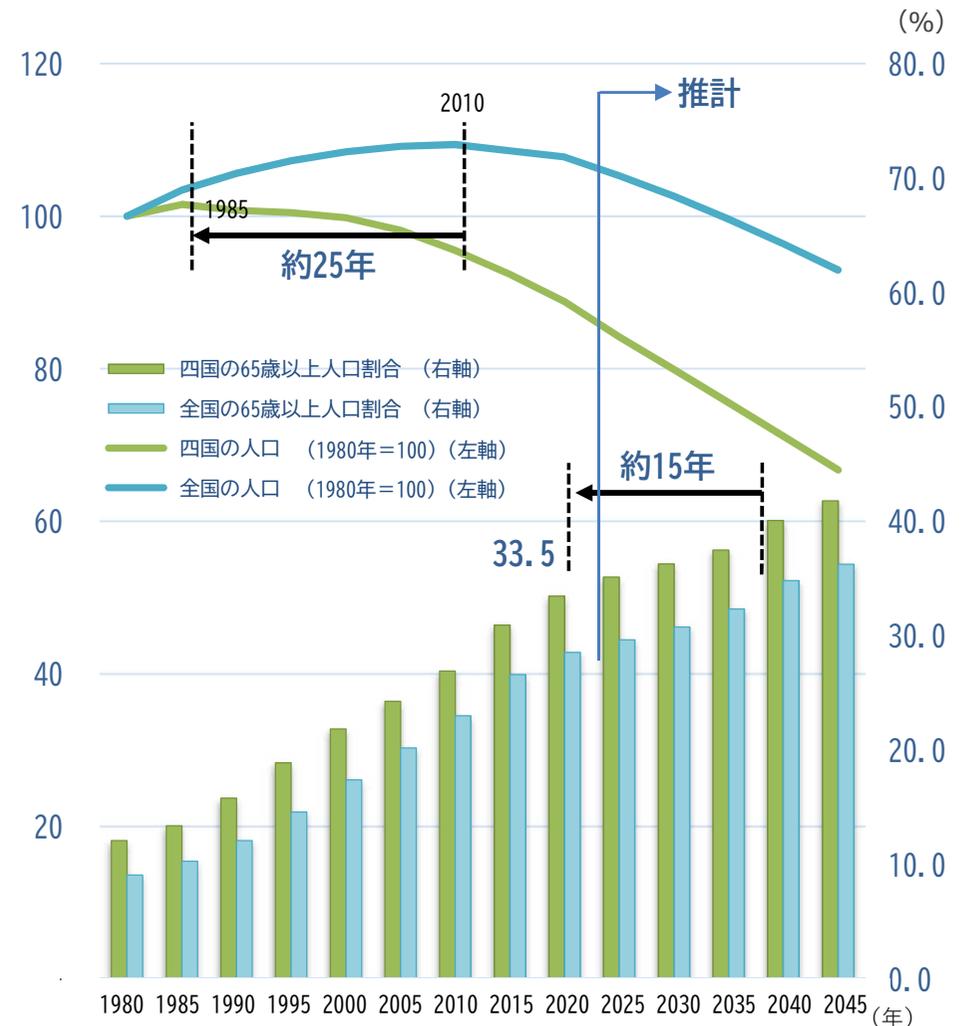
Ⅱ. 管内の経済構造 (① 3%経済 ②人口減少先進地域)

【3%経済】 人口や域内総生産、製造品出荷額など多くが全国シェア3%程度。漁業・養殖業のシェアは高い。
 【人口減少】 全国に比べて約25年早く人口減少が始まり、約15年早く高齢化が進展している。

①経済規模 (全国シェア)



②人口減少と高齢化 (全国比較)



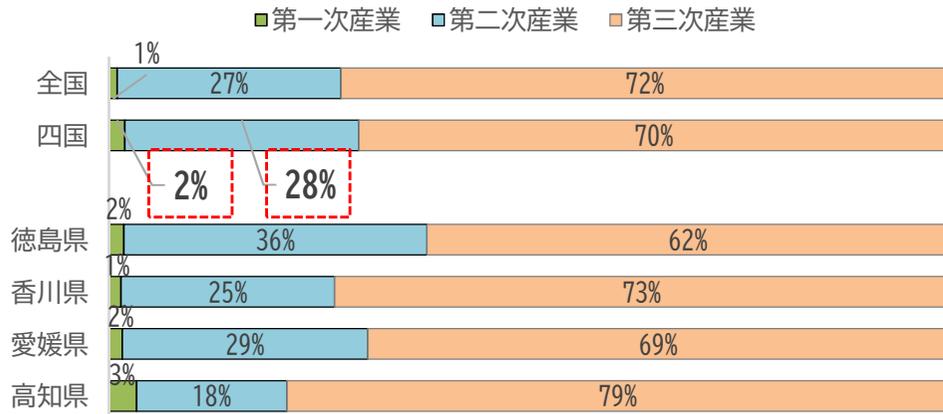
【出所】 国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」、総務省「人口推計」、内閣府「県民経済計算」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」「経済構造実態調査」、農林水産省「農業産出額及び生産農業所得」「漁業産出額」、観光庁「宿泊旅行統計調査」（観光目的の宿泊者50%以上の施設）

【出所】 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」（令和5（2023）年推計）

II. 管内の経済構造（全国と比較した位置づけ）

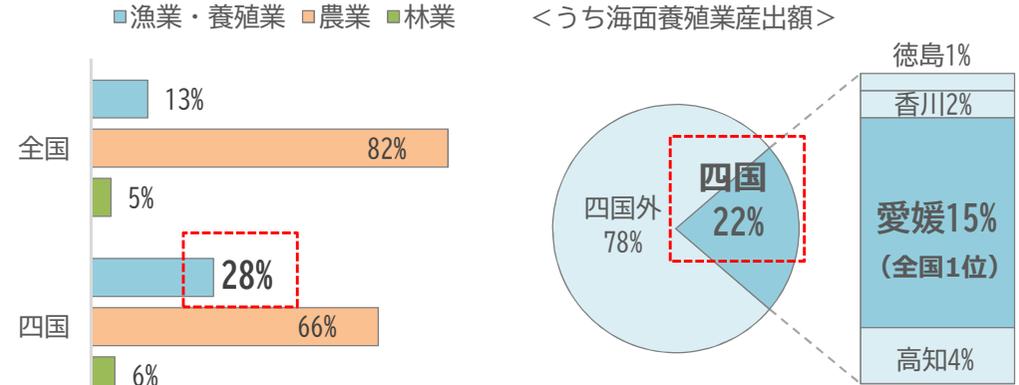
- 【産業構成比】 第一次産業（愛媛県・高知県）、第二次産業（徳島県・愛媛県）の割合が高い。
- 【農林漁業産出額】 海面養殖業のシェアが高く、真鯛の養殖が盛んな愛媛県のシェアは全国1位。
- 【製造品出荷額】 基礎素材型が6割を占め、加工組立型のシェアが低い。輸送用機械は9割以上が造船。

③産業構成比



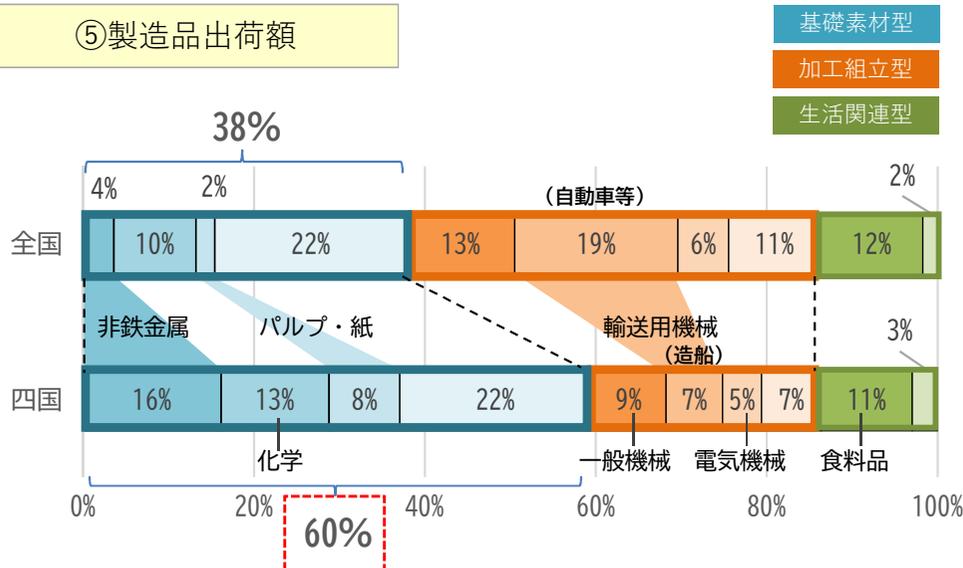
【出所】 内閣府「県民経済計算」

④農林漁業産出額



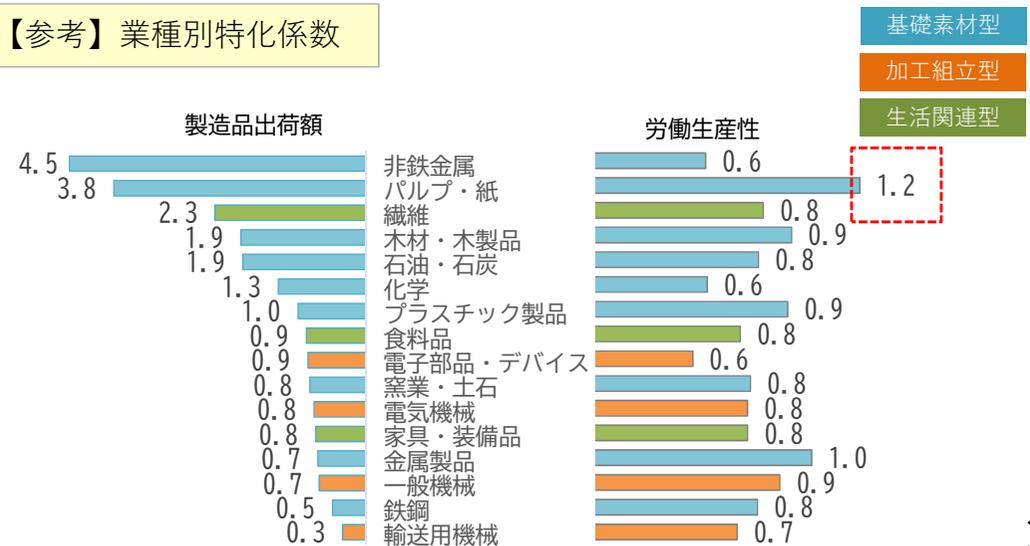
【出所】 農林水産省「生産農業所得統計」「林業産出額」「漁業産出額」

⑤製造品出荷額



【出所】 総務省・経済産業省「経済構造実態調査」 ※各業種の合計は秘匿された数字を除き算出

【参考】業種別特化係数

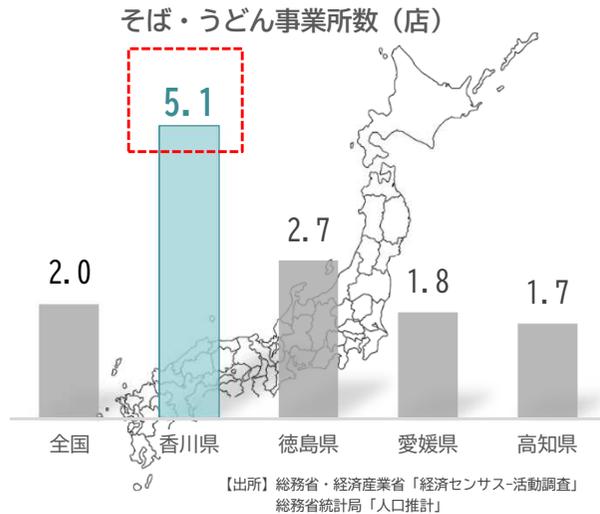


【出所】 総務省・経済産業省「経済構造実態調査」「経済センサス-活動調査」 ※各業種の合計は秘匿された数字を除き算出

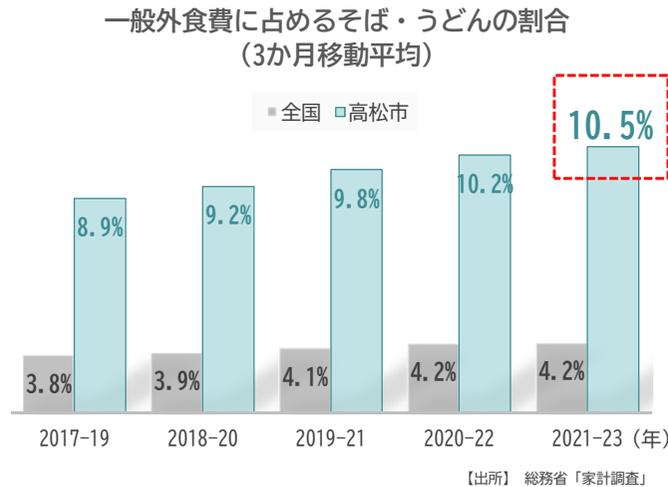
Ⅱ. 管内の経済構造（トピックス：香川の食「さぬきうどん」）

【香川のソウルフード】人口1万人当たりのそば・うどん事業所数は全国1位。外食費に占める割合が高く、需要は安定。
 【経営者の年齢層】そば・うどん店経営者の約7割が60歳超となっており、若年層が少ない。
 【原材料等の高騰】低価格を維持するなかで原材料価格などの高騰が続いており、利益を圧迫。

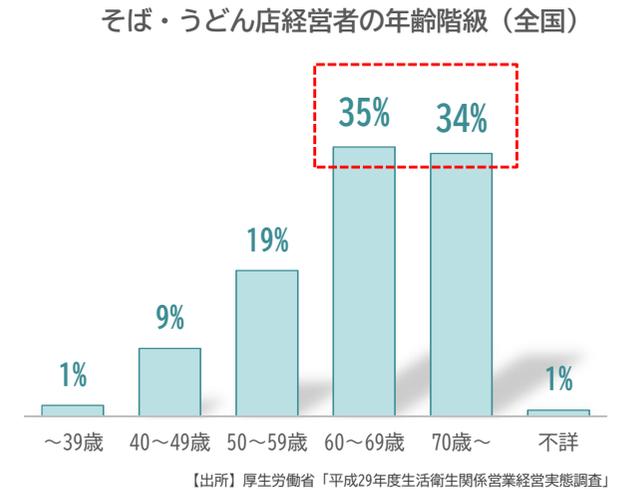
①人口1万人当たり事業所数は全国1位



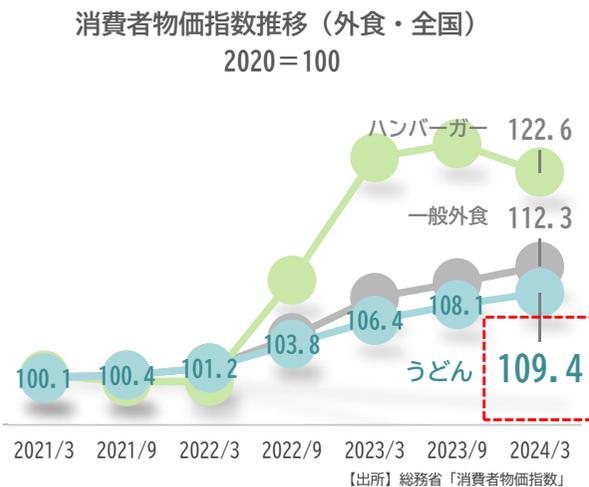
②家計の外食費に占める割合は高い



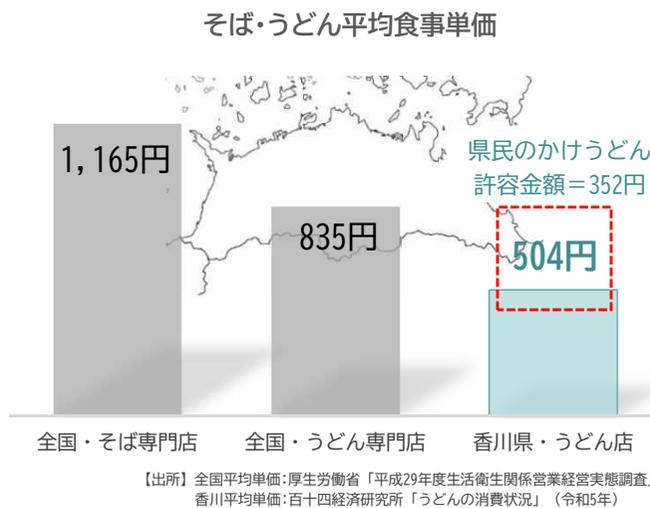
③経営者の約7割が60歳以上



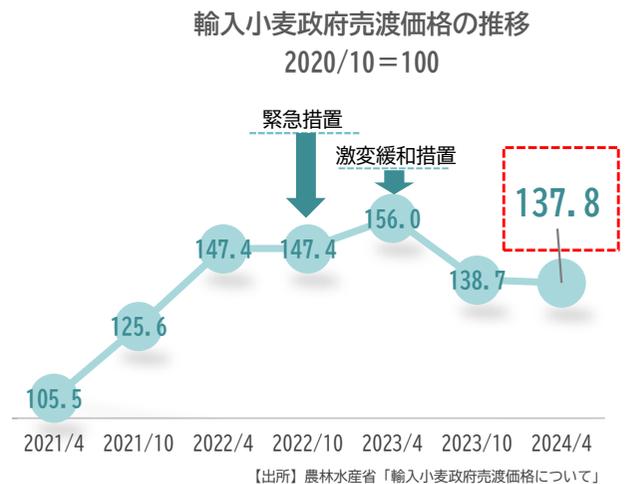
④うどんの価格上昇率は低い



⑤香川の平均単価はさらに低い



⑥原材料価格の高騰が続いている



社会課題に向き合い企業努力で課題解決、社員の生活を守り地域を元気にするさぬきうどん企業



Copyright(C) West Food Planning, All Rights Reserved.

株式会社ウエストフードプランニング

(創 立) 1998年6月
 (本 社) 香川県坂出市
 (資本金) 25百万円
 (従業員) 160名
 (店舗数) 県内14店舗 海外2店舗

- うどんを科学し、顧客満足度と従業員満足度を向上。「世界を元気に！」をテーマにフランチャイズ展開を加速。
- 自社ファームによるネギ生産や機能性表示食品である香川の“希少糖”を使った出汁の開発など、消費者の健康にも配慮。



業界の課題

(注)株式会社ウエストフードプランニング社から聴取

経営者の高齢化

人手不足

低賃金

原材料費↑

技術の承継

労務環境
(重労働)

光熱費↑

少子化によるマーケット縮小

事業所の減少※

※香川県内の事業所数(そば・うどん店)

2009年	2021年	増減
596店	479店	▲19.6%

【出所】 総務省・経済産業省「経済センサス-基礎調査、活動調査」

約10年で
2割減

当社の解決策

職人技術の機械化

- 気温・湿度に応じた小麦と食塩水の配合
- 重労働な足踏み工程が不要

クローズドキッチン

- 顧客対応をなくし裏方に専念

起業支援

- 社員の独立支援制度
- フリーネームフランチャイズ(屋号自由)

適正レイバープラン

- 顧客推計に応じた人員シフト

インセンティブ付与

(例) 経常利益〇億円の達成でベア〇% など

期待する効果

▶ 美味しさと効率化を両立

▶ 多様な人材確保
(外国人や高齢者など)

▶ 成り手の増加

▶ 経費最小化で利益率↑
賃上げの実施

初任給

2022年：20万円→25万円 (実績)

2025年：25万円→30万円 (目標)



※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。

■お問い合わせは

電話番号 087-811-7780

財務広報相談室（内線260）又は 経済調査課（内線250）へ

ホームページアドレス <https://lfb.mof.go.jp/shikoku/>

